

【選択】英語授業の見直しと改善

◆ 講習の目標

この講習は、英語の授業を見直し、中学校・高校での英語の授業の改善を目指します。講習は、7回のワークショップ(90分)とまとめから成り、最後のまとめで、講習内容についての討議と試験を行います。

科目区分	選択	受講定員	30人（最少開講人数 6人）
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象	中・高教諭（英語）
受講料	12,000円	履修認定時間数	12時間
開講日	7月27日（土）、7月28日（日）		
開講場所	麗澤大学 生涯教育プラザ棟 2階 セミナールーム2A・2B		
担当講師名	望月正道、森秀夫、Andrew Nicolai Struc、佐藤良子		
時間割	<p>7月27日（土）</p> <p>8:20～8:50 受付</p> <p>9:00～10:30 ワークショップ ①生きる力をつける英語の授業（1）望月正道</p> <p>10:45～12:15 ワークショップ ②生きる力をつける英語の授業（2）望月正道</p> <p>13:30～15:00 ワークショップ ③スピーキング指導 森 秀夫</p> <p>15:15～16:45 ワークショップ ④パフォーマンス評価とそのテストタスク 森秀夫</p> <p>7月28日（日）</p> <p>8:20～8:50 受付</p> <p>9:00～10:30 ワークショップ ⑤発音指導 Andrew Nicolai Struc</p> <p>10:45～12:15 ワークショップ ⑥定型表現とコロケーションの指導 Andrew Nicolai Struc</p> <p>13:30～15:00 ワークショップ ⑦英語授業におけるユニバーサルデザイン 佐藤良子</p> <p>15:15～16:00 まとめ 佐藤良子</p> <p>16:00～16:45 修了認定試験</p> <p>16:45～17:00 事後評価アンケートの記入</p>		
試験方法	筆記試験（2日目講義の終りに修了認定試験を実施する）		
評価基準	試験の結果により可否を決定する。100点満点で評価、60点以上を合格とする。		
認定番号	平 31-30136-506281 号		

◆ 各講義の内容(全12時間)

(1) ワークショップ ① 生きる力をつける英語の授業（1）担当：望月正道（90分）

このワークショップでは、新学習指導要領がすべての教科に求める生きる力の育成を英語の授業ではどのように実践できるかを考えます。生きる力とは何か、なぜその育成が求められるのか、英語科ではそれをどのように育成できるのかを参加者の先生方と意見交換をします。

(2) ワークショップ ② 生きる力をつける英語の授業（2）担当：望月正道（90分）

このワークショップは、ワークショップ①に引き続き、英語授業でどのように生きる力を育成できるかを考えます。新学習指導要領では、4技能から5領域へと細分化して、技能を育成することを求めています。どのようにすれば、これらの技能を英語による授業で培うことができるかを考えます。

(3) ワークショップ ③ スピーキング指導 担当：森 秀夫 (90分)

このワークショップでは、特にスピーキング力が伸びている学校とそうでない学校の特徴について考えます。また、スピーキング指導に使える具体的な活動について、体験しながら指導の在り方について意見交換します。

(4) ワークショップ ④ パフォーマンス評価とそのテストタスク 担当：森 秀夫(90分)

このワークショップでは、テストが授業や学びに与える波及効果について考えます。また、民間英語試験のスピーキングテストのタスクについて検討して、授業でどのように活かすことができるかを意見交換します。

(5) ワークショップ ⑤ 発音指導 担当：Andrew Nicolai Struc (90分)

このワークショップは、発音指導に焦点を当てます。発音の特徴は大きく「分節音(音素)」と「超分節音(強勢、イントネーションなど)」に分類できます。このような特徴を第二言語の授業で導入する場合に、その相関的重要性と教育的優先度について考えます。次に、1)生徒に発音の弁別的特徴になじませる、2)生徒がやってみようと思う方法で発音練習する機会を与える、さまざまなタスクを紹介します。

(6) ワークショップ ⑥ 定型表現とコロケーションの指導 担当：Andrew Nicolai Struc (90分)

第二言語習得研究や指導において、定型表現や イディオムやコロケーションについて興味をもつ研究者や教師が増大しています。コロケーションの概念は定型表現の中核的特徴です。コロケーションの知識は、英語の受容的・産出的熟達度を伸ばすのに、学習者や教育者にとって価値のあるものです。教師にとって、これは生徒の意識を高める学習教材を作るのに役立ちます。そのような教材は、生徒に認知的アプローチを教え、独自にコロケーションを応用している資料を提供します。このワークショップでは定型表現とコロケーションの概念と関連するタスクを紹介します。

(7) ワークショップ ⑦ 英語授業におけるユニバーサルデザイン 担当：佐藤良子 (90分)

生徒たちの特性やニーズが多様化し、ますます英語学習の環境づくりや指導の工夫が求められるようになってきました。このワークショップでは、様々な生徒にとって学びやすい授業をデザインするための基本的な視点を確認し、教材を作成する際の留意点とその活用について考えます。

(8) まとめと試験 担当：佐藤良子 (90分)

ワークショップ①から⑦までの講習内容の確認をします。それぞれのワークショップのまとめとその解答について各自考えてもらいます。つぎにグループに分かれて、それぞれのワークショップの内容が実際の授業でどのように活用できるかを議論してもらいます。グループごとに議論の成果を発表します。

最後に、試験として、4択の問題を配布しますので、解答をマークシートに記入していただきます。

HBの鉛筆と消しゴムをご用意ください。
評価は、試験の結果により行います。

◆ 講師のプロフィール

望月 正道	麗澤大学 外国語学部 教授	専門分野：英語教育
森 秀夫	麗澤大学 外国語学部 教授	専門分野：英語教育
Andrew Nicolai Struc	麗澤大学 外国語学部 准教授	専門分野：英語教育
佐藤 良子	麗澤大学 外国語学部 専任講師	専門分野：英語教育